

平成30年北海道胆振東部地震 における警察活動の概要

平成30年11月19日

北海道警察本部

1 指揮体制・初動対応

[指揮体制]

- ・ 9/6 03:07 警察本部に警察本部長を長とする災害警備本部を設置
(改組) 10/9 災害警備対策室[室長:警備部長]
11/6 災害警備連絡室[室長:警備課長]
- ・ 4方面本部及び66警察署に災害警備本部等を設置
- ・ 道、札幌市及び厚真町に連絡調整員を派遣し、関係機関との連携体制を構築

[初動対応]

○ ヘリコプターによる情報収集

ヘリテレ搭載機を午前4時にフライトさせ、被災地上空から情報収集
(警察庁、警察本部に映像送信)

○ 道警察の救出救助部隊の投入

- ・ 04時30分に機動隊が出動し、06時過ぎに厚真町到着
- ・ 機動隊97人(警備犬2頭付)、警備隊111人の計208人を投入

○ 特別派遣部隊(第一陣)の受援

- ・ 広域緊急援助隊(警備部隊) 3都県警察52人
- ・ 航空機 5都県警察 7機32人



↑災害警備本部



↑苫小牧警察署災害警備本部



↑厚真町現地本部



↑ぎんれい2号(ヘリテレ機)

2 特別派遣部隊

地震発生の9月6日以降、16都県警察から621人(24日間延べ3, 620人)航空機10機、車両24台の「警察災害派遣隊」の受援

※「警察災害派遣隊」とは、大規模災害時に直ちに被災地等に派遣される部隊で、発生直後に派遣する「即応部隊」と、一定期間後に派遣する「一般部隊」がある。

[部隊別]

活動部隊	派遣都県	派遣期間(離県から帰県まで)
即 応 部 隊	広域緊急援助隊 (警備部隊) [13都県386人]	青森、岩手、宮城、秋田、 山形、福島、警視庁、 茨城、埼玉、千葉、 神奈川、新潟、長野 9/6 9/13
	広域警察航空隊 [8都県10機45人]	宮城、秋田、山形、福島、 警視庁、埼玉、千葉、 新潟 9/6 9/17
一 般 部 隊	特別自動車警ら隊 [8都県64人]	青森、岩手、宮城、秋田、 警視庁、埼玉、千葉、 神奈川 9/7 9/25
	特別交通部隊 [5都県56人]	岩手、宮城、警視庁、 埼玉、神奈川 9/7 9/21
	特別生活安全部隊 [10県70人]	青森、岩手、宮城、秋田、 山形、福島、栃木、群馬、 千葉、静岡 9/10 9/29

3 情報収集活動

○ 映像情報の取得

ヘリテレやモバイルカメラによる被災地のライブ映像を警察本部や警察庁へ配信



↑厚真町(幌内地区)のヘリテレ映像

○ 安否不明者の特定

安否確認班等が町災害対策本部や避難所で情報収集し、9/7未明までに36人を特定



↑厚真町現地本部

○ 道などの派遣した連絡調整員からの収集

道(危機対策課)に派遣中の警察官や連絡調整員を通じて実施



↑道庁での連絡調整

4 救出救助活動

○ 広域緊急援助隊(警備部隊)等による活動

- ・ 機動隊、警備隊及び特別派遣の広域緊急援助隊(警備部隊)が厚真町で、自衛隊や消防とともに救出救助活動を実施
- ・ 9月10日までに安否不明者36人を全員発見

○ ヘリによる活動

道路寸断により被災地に取り残された住民8人をホイスト(つり上げ)救助



↑救出救助活動(他機関合同)



↑救出救助活動(夜間活動)



↑ホイスト(つり上げ)救助

5 検視・遺族対応活動

- 厚真町児童会館において、ご遺体を検視
- 地元の歯科医師の協力を確保し、身元を早期に特定
- 遺体発見状況などご遺族への説明とご遺体の引渡し



↑厚真町児童会館



↑検視活動状況

6 交通対策活動

○ 交通整理

道内全域の信号機滅灯や交通渋滞に対応

[人員]

1日最大 約1,300人(9/6)

4日間延べ約1,800人



↑ 札幌市中央区の交差点



↑ 上に同じ

7 被災者支援活動

○ 生活安全部隊による支援活動

- ・ 通称「はまなす隊」による避難所巡回を通じた要望等の受理対応
- ・ 少年心理専門官による避難者のケア



↑「はまなす隊」避難所警戒

○ 物資輸送車両の先導

緊急支援物資が円滑・確実に被災地に届くように交通機動隊等のパトカーが輸送トラックを先導



↑物資輸送車両の先導

○ 運転免許の手続に係る対応

地震に伴う有効期限切れや紛失による再交付の手続を情報発信



↑運転免許相談の対応

○ 音楽隊による被災地慰問活動

厚真町、安平町で震災慰問コンサートを開催



↑震災慰問コンサート

8 被災地警戒・防犯活動

○ 留守宅の警戒活動

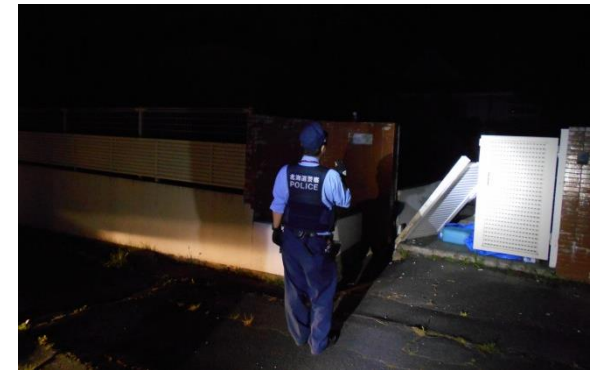
自動車警ら隊(特別派遣を含む。)が被災地の留守宅などを警戒

○ 心ない見学者への対応

札幌市清田区(液状化地域)において、通行止めの道路に入ったり、記念写真を撮ろうとする心ない見学者に対して、警察官を配置し、札幌市と連携した対応

○ 震災に乗じた犯罪被害防止の情報発信

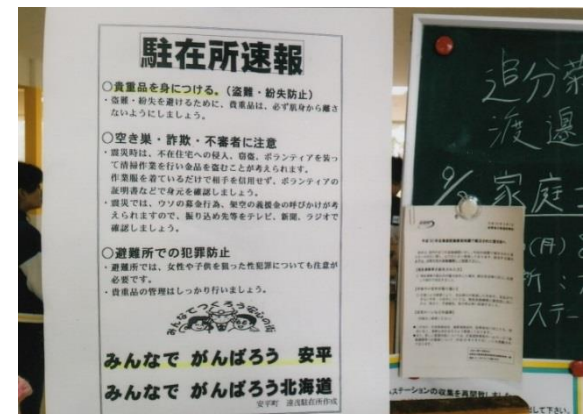
防犯メールやラジオ放送、避難所へのポスター掲示により、震災に乗じた犯罪被害防止を情報発信



↑留守宅警戒(厚真町)



↑札幌市清田区の警戒



↑避難所の掲示

9 警衛・警護警備活動

○ 安倍首相を始めとした政府・政党等要人による被災地視察に伴う警護警備

(実施状況)

計 14対象18回(11/3現在)

○ 天皇皇后両陛下の被災地御見舞に伴う警衛警備(11月15日)



↑安倍首相の警護警備



↑天皇皇后両陛下の行幸啓警備

10 流言飛語への対応

○ 流言飛語の把握

SNS上におけるサイバーパトロールにおいて
200件以上の流言飛語を把握(9月末現在)

○ 関係機関への情報発信

住民への注意喚起が図られるよう当該内容に応じて、
道や自衛隊、気象台に情報提供

(流言飛語の例)～

- ・ 「自衛隊の情報で、地響きがなっており5～6時間後に大きい地震が来る可能性が高い」
- ・ 「厚真ダムにひび、決壊の恐れ」

北海道SNSでデマ拡散

↑9/12 日本経済新聞

ネットのデマにご注意

公式発表なし／時間不明／臆測／伝聞

↑9/15 北海道新聞

11 情報発信活動

○ 警察本部長から道民へのメッセージ

信号機滅灯時の安全運転に対する謝意や災害警備活動への理解と協力をお願い

○ 災害情報の正確かつタイムリーな記者発表

道民に正確な災害情報が速やかに伝わるように、随時、記者クラブでのレクチャーを実施

○ 臨時FMを通じた発信

厚真町・むかわ町に臨時に開局したFMラジオを通じ、苫小牧署員が防犯情報や災害情報を発信

○ 警察措置の広報

- ・ インタビュー取材や同行取材を通じ、各部隊員の活動を等身大に紹介
- ・ 警察本部1階ロビーや北海道警察視閲式において、来訪(場)者が見学できるように災害警備活動の写真、パネルを展示



道民のみさまへ

今月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」においては、厚真町において道内観測史上最大の震度7を記録したほか、全道において大規模な停電が発生したところであり、尊い命を失われた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様からお見舞いを申し上げます。

道警察におきましては、発生と同時に北海道警察災害警備本部を立ち上げ、情報収集活動、救出救助活動などの災害応急対策に全力で取り組むとともに、被災された方々に対する困り事相談、避難地域の警戒などの警察活動に取り組んでおります。

このような中、震災直後の停電により全道の信号機が滅灯し、道警察では総力を挙げて交通整理などに取り組みましたが、この間、車を運転する方々には、思いやり、譲り合いの気持ちで、安全運転に心がけていただきましたことに、心から感謝申し上げます。

道警察といたしましては、引き続き、被災された方々やご家族に寄り添い、その心情を汲んだきめ細かな活動に心掛け、避難地域の警戒のほか、防犯情報の積極的な発信、悪質な流言飛語への対応などの災害対策を推進するとともに、通常の警察業務にも、いささかの開眼を生じさせることのないように努め、安全・安心な北海道の実現に向けて警察活動の万全を期してまいりますので、道民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年9月12日
北海道警察本部長 和田 昭夫

↑警察本部長の道民メッセージ(道警HP)



↑ラジオ放送での情報発信(左:署員)



↑9/19 STV(自ら隊の同行取材)